

「むくげ通信285号」2017.11.26より
隨想

韓国のカラオケ

山根俊郎

今年は、4回韓国に行った。その都度、ノレ バン（노래방、ノレは歌、バンは房・部屋の意味）やノレ チュジョム（노래 주점、ノレは歌、チュジョムは酒店）に行き、歌を楽しく歌った。

当然な話だが、まだ日本のカラオケ店の「外国曲編」に収録されていない私が好きな韓国の歌が、すべて整っているのがうれしかった。

機種はKY（クムヨン）とTJミディアの2大企業がある。最近、KYの倒産説がささやかれた。

1. 明洞の健全なノレバン（4月17日・月）

明洞で夜9時ごろ散策中に「ノレ ョンスプジャン」（노래연습장、ノレは歌、ヨンスプジャンは練習場）の看板を見て2階に上がった。私は焦ってトイレに駆け込んだので同行のNさんが交渉して1時間3万ウォン。（2017年11月24日 現在 100円=958ウォン）4人なので少し広い部屋に案内された。かなり高い！！ボッタクリだ。

韓国紹介サイト「コネスト」によれば、「1時間1万ウォンが相場。平日・週末、時間帯、部屋の大きさによって値段が変わる。日本のように“人數貸し”ではなく“部屋貸し”」と説明があった。

冷蔵庫の缶ビール@5000ウォン×2本=1万ウォン。合計4万ウォン。先払い。機種はKY。

本来、ノレ ョンスプジャンはアルコールの提供が禁止され、未成年者の入店もOKである。

また、目録本に日本の歌が入っているので数字入力すれば歌える。ハングルのルビが奇異である。

2. 鐘路3街のノレチュジョム（4月18日・火）

ノレチュジョムは、個室でトウミ（도우미、動詞トプタ、昏다 助ける、を名詞化した言葉。ホステスの意味）が接客して、客が歌を歌いながら酒を飲む遊興酒店（ユフンチュジョム）である。

午後8時30分頃、食事を済ませて、Nさんと2人で「酒を飲んでノレ チュジョム、まじめな価格

（チャッカン カギョク・착한 가격）」「トウミ 常時待機」、「ヨウビ ノレバン（여우비 노래방）=狐の嫁入り・天気雨ノレバン」の風船の看板につ

られてビルの地下にあるノレ チュジョムに入った。豪華な内装の部屋に入り、社長（マダム）と値段の交渉をした。社長は「全部で1時間16万ウォン」と切り出した。私は「トウミへのチップも含まれるね」と念を押した。社長は小さくうなづいた。社長が出て行き私は8万ウォンをNさんに預け彼は自分の分と合わせて16万ウォンを胸のポケットに忍ばせた。



機種はKY。ビール（小）5本とフルーツ盛り合わせが出た。トウミは、ミナという30歳前半のベテランが私に付き、Nさんには20歳前半の若い女性が付いた。私は得意の『アパート』から『安東駅で』（アンドンヨゲソ）、『歳がどうした』（ネナイガ オッテソ）、『ファンジニ』などを快調に飛ばしてNさんも歌手ソルウンドのレパートリーを繰り出した。

コーヒーを取りに室外に出たミナさんが戻ってきて、外では「歌がうますぎる。本当に日本人か？」と驚いているらしい。ビール3本と焼酎1本も追加で出してくれて、私たちは益々調子に乗った。

大分経過してミナさんが「私たちも食べて生きなければならない」と暗にチップを要求した。内心「嫌だな」と思ったら、若い女性が「こんなに韓国の歌をうまく歌ってくれて私の方がチップをあげたいくらい」とうれしいことを言ってくれた。

私がラスト曲『美しい江山』（アルムダウン ガンサン）を歌っているとNさんが1時間になりそうなのでお金を払いに行った。戻ってきて慌てて荷物を持つ。歌の途中なのにミナさんがカラオケの電源をブチッと切り、私も従って部屋を出た。彼女たちはろくすっぽ挨拶もしない。Nさんに尋ねると「ママから2時間分32万ウォンを要求された。まだ1時間だと抗議して16万ウォンを渡した」と結末を語った。後に韓国人の友人に報告すると「飲み代は特に高くないが、韓国人なら1時間などせこい飲み方はしない。2時間は遊ぶ」と笑われた。

3. 大邱のノレバン (10月22日・日)

去年に引き続き、大阪梅田のTOKU韓国語教室が主催する“TOKU日韓文化交流会”に参加して大邱に行った。釜山、慶州の観光も充実、お土産満載の2泊3日であった。(参加費 68,000円)

日本側代表は康淑姫(カン・スッキ、TOKU韓国語教室代表)さん。参加者は日本側45名。韓国側約60名。合計約105名。今年は和太鼓(松丸純詩)やジャグリング(在日のチャンヘン)のプロが妙技を披露した。女性陣は浴衣を着て踊り大いに盛り上がった。韓国側はサムルノリが出演。

私の出番はPM10時過ぎ。「あわびと牛肉の鉄板焼き屋」でのティプリ(熨斗이・打ち上げ会)からである。去年と同じく、韓国側代表のソン・キボム(손기범・60歳)熱情医療財団会長が私費



で宴席を設けていただいた。

去年、私は焼酎瓶マイクで『アパート』を歌ってソン会長に気に入られた。

今年もまず『歳がどうした』を歌い、ソン会長から「趙容弼(チョ・ヨンピル)の歌」とリクエストを受けて、40年間歌い続けた名曲『帰れ釜山港に』(76年 トラワヨ プサンハンエ・ 돌아와요 부산항에)を歌い上げた。

PM11時30分、お開きとなり約25名いた日本側は15名が帰り、精銳10名が残った。韓国側5名と合計約15名が近所のノレバンへ向かった。

去年と同じ地下1階のノレバン。同じ部屋だ。真ん中の大きなテーブルを囲んでコの字型にソファーが取り囲む。機種はTJ。私がリモコンを操作して、まず『愛のバッテリ』(サランエ ベテリ・사랑의 배터리)を入れて、笛本留美子さんが歌う



と大受け。次に私がこの日のために練習してきた『ピニゴ・(あなた)だけで』(畢竟고)を歌うと興奮のるつぼ。みんな踊りまくる。それからは各自歌い出して、押し合いへし合い踊り続けた。

数曲歌ってからソン会長がお手製の焼酎をビールで割った爆弾酒をみんなに振舞った。乾杯の音頭もいろいろだ。「大邱」と先唱すれば「大阪」「大阪」「大阪」と3回言う。私が好きなのは「カッチ

ー」(一緒に・같이)の先唱に「チュクチャ」(死のう・죽자)を3回唱えるもの。

私は、雰囲気が最高潮の時に2曲目『アパート』をぶち上げた。いつの間にか鉄板焼き屋の主人とウェイトレスまで混じって踊りまくっていた。私はソン会長から5万ウォンのチップを貰った。

日本の歌も多く歌った。ソン会長も青春の歌『鯨狩り』(75年 コレサニヤン・고래사냥)を歌った。

私は韓国のノレバンは①参加者全員がもれなく歌う②みんなが踊るという特徴があると分析する。

やはり2時間。20曲程度歌ってAM1時30分解散となった。私たちはホテルに帰ったが4次会まで行った強者もいた。朝にちゃんと帰っていた。

4. 釜山西面のノレバン (11月3日・金)

今年から釜山外国语大学日本語科で働くユ・シネ(류신애・29歳 独身)さんと大邱の“TOKU日韓文化交流会”で再会した時に約束して私たち日本人6名と釜山の西面(ソミヨン)で夕方に会った。食事をしてからノレバンへ行った。「ラキュ(락휴・ROCK-Q・楽休)ノレタウン」という



チェーン店である。地下1階のフロントでユさんが「7名 2時間」と言うと「2万

ウォン」とのことで私が支払った。“部屋代1時間1万ウォン・先払い制”が確認された。長いテーブルにソファーがコの字型に置いてある。壁の絵のデザインが斬新だ。10名部屋。機種はKY。

飲み物つまみの料金 57,000ウォン(後払い)

内訳 ビール@4,500×4本=18,000ウォン

オレンジジュース(ピッチャー) 5,000ウォン

フルーツ盛り合わせ 27,000ウォン

シュークリーム@1,000×7ヶ=7,000ウォン

合計 77,000ウォン÷6名=@13,000ウォン

(日本人で割り勘) 皆が日本の歌をたくさん歌い楽しめた。2時間の直前に「延長?」聞きに来た。

西面には若者に大人気の1~2人用「コインノレバン」(코인 노래방・1曲 500ウォンの曲数料金制)という安い店もあり一度行きたい。(終)